

# 政策6

## 基地問題への対応

施策1 基地問題への対応

## 施策1 基地問題への対応

### 施策のめざす方向

関係機関との連携を密にし、基地から派生する事件・事故等の未然防止を図るとともに、普天間飛行場代替施設問題においては、民意に沿って適切に対処し、市民が平和かつ安心して暮らせる環境づくりに取り組めます。

### 経緯・現状

- 本市には、キャンプ・シュワブや辺野古弾薬庫、キャンプ・ハンセン、八重岳通信所の4つの米軍施設・区域が所在し、これらは市面積の約11%を占めています。
- 廃弾処理や実弾射撃訓練、米軍機等による低空飛行や夜間飛行訓練等から発生する騒音等については、市民等からの連絡や基地苦情110番の情報を基に、状況を確認し、沖縄防衛局等を通し、米軍及び関係機関に抗議や自粛要請を行うとともに、廃弾処理施設等の既存施設については改善の要求を行っています。
- 基地から派生する問題の解決に向けては「沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会」、「米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチーム」等で具体的な協議を行っています。
- 平成8年4月に日米間で全面返還が合意された普天間飛行場の代替施設問題については、これまでの様々な経緯がありますが、市民の民意に沿った適切な対応が求められています。
- 名護市には現在、市有地、民有地合わせて2,121haの軍用地があり、それらに対する軍用地料による収入があります。市有地に係る収

入のうち4割が地元に分収され、残りの6割はまちづくりに活用されています。

#### 【施策に関する市民の声】

- 市民アンケート調査より「基地から派生する事件・事故等への対応や返還軍用地対策の推進等による基地対策の充実」に関する市民の満足度をみると、『満足』（満足）＋「やや満足」）（35.3%）とする回答より、『不満』（「やや不満」＋「不満」）（59.8%）とする回答が多くなっています。
- 今後の重要性については、『重要』（「特に重要」＋「やや重要」）が約9割（88.9%）を占め、更に「特に重要」が6割強（64.9%）を占め高くなっています。

### 課題

- 普天間飛行場代替施設に対する適切な対応
- 基地から派生する事件・事故等に対する対応

## 具 体 的 な 取 組

### 1. 普天間飛行場代替施設に対する対応

○普天間飛行場の名護市辺野古への移設問題については、「辺野古の海にも陸にも新たな基地は造らせない」という民意に沿って、適切に対処します。

### 2. オスプレイ配備に対する対応

○オスプレイの配備については関係機関と連携し、配備撤回を強く求めています。

### 3. 基地から派生する事件・事故等に対する対応

○基地から派生する事件・事故等については、未然防止に向けた取り組みを行うとともに、米軍機による低空飛行や夜間飛行訓練等から発生する騒音等については、基地苦情 110 番を継続して設置するとともに、沖縄防衛局や関係機関に実効性のある改善を求めています。

○廃弾処理等の訓練の中止や廃弾処理施設の撤去を求めています。

○「沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会」や「米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協カワーキングチーム」等に参加し、基地から派生する様々な問題の解決に向けて取り組みます。

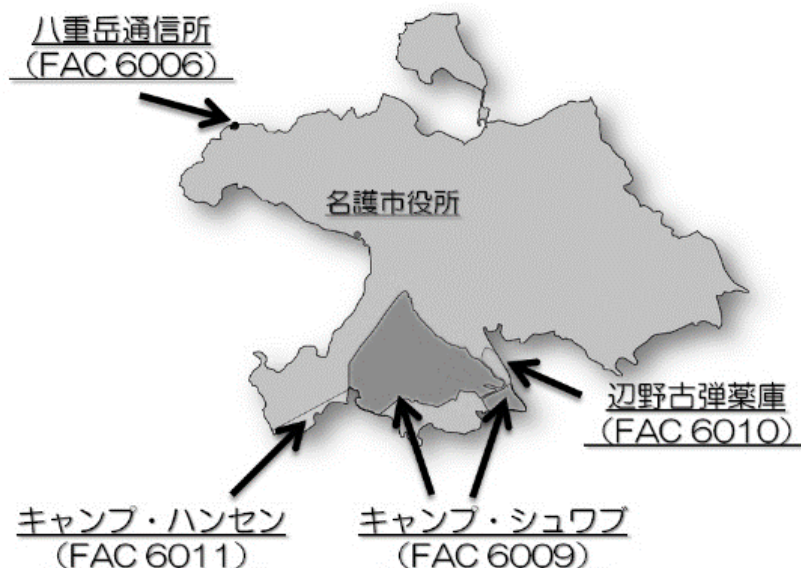
#### ◆重点的に取り組む活動

○普天間飛行場代替施設に対する民意に沿った適切な対応

○基地から派生する事件・事故等への適切な対応

#### 【目標数値】

指標	平成 24 年度 (実績)	平成 30 年度 (目標値)
市民からの基地苦情件数	45 件	減少





羽地ダム鯉のぼり祭り